

2021年1月18日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

InfluxData 社の時系列データベース「InfluxDB」を国内で初めて提供開始 IoT データを効率よく蓄積、活用し DX に貢献

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、米国 InfluxData Inc. (CEO: Evan Kaplan、本社:米国カリフォルニア州、以下:InfluxData 社)のオープンソースの時系列データベース「InfluxDB (インフラックスデービー)」について、国内で初めて InfluxData 社と代理店契約を締結し、本日から提供します。InfluxDB は、IoT センサーなどから送られる大量の時系列データを蓄積し、活用することに特化したデータベースで、CTC は、クラスタリング機能を搭載した商用版を取り扱います。価格は 2 百万円(税抜)からで、IoT の拡大が見込まれる製造や情報通信分野の企業を中心に、InfluxDB を含めた IoT やデジタル活用ソリューションを展開し、3 年間で 30 億円の売上を目指します。

近年、AI や IoT 関連市場の拡大により、センサーを使用して大量のデータを収集し、分析で利用する企業が増加しています。精度の高い分析を行うには高頻度でデータを収集する必要があるため、蓄積するデータ量も膨大になる傾向があります。ほとんどのセンサーデータは、時刻と状態のデータを組み合わせた時系列データと呼ばれるもので、そのようなデータの蓄積に加え、高速な読み書きや圧縮に優れた時系列データベースに注目が集まっています。

InfluxDB は、センサーから送られる時系列データをリアルタイムで取り込み、長期間にわたる保存や高速な検索を実現するオープンソースの時系列データベースです。データの圧縮によるストレージ容量の節約や、解析時に使用するメモリ量の削減など、時系列データに特化して最適化されており、大量なデータを扱う際の効率的なデータ管理を可能にします。また 200 種類以上のデータソースに接続可能なコネクタが提供されているため、様々なデータベースやクラウドプラットフォーム、IoT センサーなどとも容易に連携できます。

商用版はクラスタリング機能を備えており、高い可用性と拡張性に基づき安定したシステムの構築を可能にします。海外では既に、産業設備やネットワークの異常検知、AI(機械学習)を組み合わせた予知保全、アプリケーションやネットワークのパフォーマンス管理などで広く活用されています。

CTC は、InfluxDB の提供に加え、導入に伴うシステム構築やコンサルティング、保守サービスを提供します。またデータを活用したデジタルトランスフォーメーションの各種支援サービスも既に提供しており、InfluxDB を使用したデータ活用を総合的に支援します。

今後も CTC は、InfluxData 社と連携し、製造業向けのデジタルツインやエッジコンピューティングのシステムで InfluxDB を組み込み、お客様の更なるデータ活用とデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

■ InfluxData Inc.について

米国カリフォルニア州に本社があるソフトウェアベンダー。時系列データを効率よく蓄積、活用する、オープンソースの時系列データベース「InfluxDB」を開発。IoT データの活用やネットワークモニタリングでの利用に加え、リアルタイムデータ分析などでも使用されており、有償版の顧客数は 750 社を越えています。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
E-mail: press@ctc-g.co.jp